

令和6年3月吉日
船橋希望学舎
世田谷区立船橋希望中学校
校長 菅野 茂男
学校関係者評価委員会事務局

令和5年度 学校関係者評価委員会の報告を受けて
次年度（令和6年度）に向けた改善方策）

1 学習指導について

- (1) 学習指導要領と世田谷区教育要領に則り、「世田谷探求的な学び」を基本とする多様な学びを生徒が共有し、個性と能力を發揮できるよう教師が学習改善に努める。
- (2) 学習タブレットの活用など、各教科や様々な教育活動で教育DXを推進し、学ぶ意欲の向上や学びに向かう力の育成に努め、課題を見つけ自ら解決する能力など、諸課題に求められる資質の更なる向上を目指す。
- (3) 過去7年間にわたり学舎でも研究、実践を進めてきたNIEや演劇的な手法を授業や特別活動など幅広い分野で活用し、キャリア未来デザイン教育の根幹である広い視野をもって将来を見据える力や情報活用能力の育成を図っていく。演劇的手法はすまいる教室での個別指導にも応用できるため、特別支援コーディネータと連携した教育手法の開発を進める。
- (4) ユネスコスクール加盟校として、教育・文化・科学・コミュニケーションの分野で世界に視野を広げ、グローバルシチズンシップを育み、国連で取り組んでいるSDGsやESDの分野において、持続可能な課題解決を促進するための必要な知識および技能を習得させる。

2 豊かな人間関係づくりと進路指導（キャリア教育）

- (1) 集団生活の中での様々な活動を通して、自己を活かす前向きな考えや体験活動をさらに充実させ、人権尊重、豊かな情操や感性、規範意識、自己有用感や主体性の育成など、将来所属する社会の一員としての自覚と豊かな人間性を育てる教育の充実をさらに進める。
- (2) 不登校傾向の生徒や集団生活になじめない生徒へのきめ細かな対応は、毎週行われる教育相談部会での情報交換を基本として、スクールカウンセラーや関係機関、学舎の小学校等と連携して組織的に行う。また、教室環境の整備や、学校行事を充実させるなど、自己有用感を持てる機会を増やすことで、精神的な満足感が得られる学校・学級づくりを進めることで不登校の未然防止につなげる。
- (3) 学舎小学校と連携した「キャリア・パスポート」の活用を基本としたキャリア教育の推進をはかる。日常の学習活動とキャリア教育とが密接に関連していることをキャリア通信やホームページなどを通して伝え、自己肯定感と自信をもって将来を生きぬいていく力の育成を図る。
- (4) 職業講話や職場体験、上級学校訪問やビジネスマナー講座などの体験的キャリア教育を、生徒の発達段階に合わせ計画的に実施することにより、キャリア未来デザイン教育の中心課題である自己形成能力の主体的育成をはかる。

3 特色ある教育活動および生活指導について

- (1) 7年間目となるN I E（新聞を教育に）を次年度も継続する。全校一斉に実施する月1回のN I Eタイムや学活でのN I E日直、各教科や特別の教科「道徳」での新聞活用に加え、行事や校外学習の事後学習に新聞づくりの手法を取り入れ、情報処理能力、表現力の育成をはかる。
- (2) 「みんながルールを守ること」を大切にしつつ「個性を伸ばすこと」をひとりひとりが実現させることができる数少ない学校であることを生活指導で学ばせる。その象徴となる「あいさつ運動」は学舎での取組みだけでなく、キャリア教育と関連づけて生徒にあいさつの大切さを捉えさせ、これからの世の中を自信をもって生き抜く力となるよう価値付けていく。